

## &lt; 介護・医療連携推進会議における評価 &gt; ※公表用

## 【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	事業所名	こぶし 24 時間ケアサービスステーション美沢
所在地	(〒 940 - 0856 ) 新潟県長岡市美沢 4 丁目 2 1 1 番地 6		

## 【事業所の特徴、特に力を入れている点】

24 時間 365 日営業。住み慣れた地域の中で築き上げた暮らしを支えていく。  
情報共有にはタブレットを使用し、多職種連携にも活用している。

## 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 8 月 30 日	従業者等自己評価 実施人数	( 9 ) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	---------	---------

## 【運営推進会議における評価の実施概要】

実施予定日	西暦 2025 年 1 月 16 日	メンバー人数 (合計)	( 17 ) 人	※自事業所職員を含む
照会人数 (内訳)	■自事業所職員 (3人)    ■市町村職員 (1人)    ■地域包括支援センター職員 (1人)    ■地域住民の代表者 (1人) ■利用者 (1人)    ■利用者の家族 (1人)    ■知見を有する者 (2人)    ■医療従事者 (6人)    ■その他 (1人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝達研修についての取り組みは継続していく</li> <li>・推進会議での課題解決に向けて地域への取り組みをすすめる</li> <li>・個別避難計画について地域の集まりに参加して意見の聴取を行う機会を作る</li> </ul>	<p>研修内容を月 1 回のミーティングを利用して伝達研修としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域への取り組みとして月 2 回サークル活動に参加させてもらい個々の心配事等に対して知識を深められるような講義等を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のミーティングで外部研修等の内容を行えない時もあった。今年度は虐待研修の内容を皆で考えるよう 9 月から 12 月まで演習シートを個別で行ったり、ヒヤリハット検討会を毎月実施していた。</li> <li>・地域への取り組みは毎月サークル活動への参加を通して地域の方からの信頼を得られた。</li> </ul>	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅支援事業所に対する定期随時サービス、フェニックスネットの啓蒙活動、説明会を行う</li> </ul>	<p>居宅事業所ではないが今年度のヘルパー全体の取り組みとして、病院のスタッフ対象に退院後の在宅生活における定期随時サービスの利用の仕方の説明会を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本来地域活動でサービスの説明を行うつもりであったが、まずは地域の方に溶け込むことを優先した。今後はサービス内容の説明を行っていききたい。</li> <li>・居宅支援事業所への説明を行うことが出来なかったので時間を作り説明会を行っていききたい。</li> </ul>
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の包括支援センターから助言を貰いインフォーマルサービスの掘り起こしをおこなう</li> </ul>	<p>地域包括センターの方よりインフォーマルサービスの情報を頂いた。利用者への情報提供等行っていききたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括センターの情報を利用者へ影響する機会がなかった。地域活動の中からも出来ることはないか考えていく。</li> </ul>
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 28～32)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティーセンターへの顔出しで少しずつ地域の集まりやサークルの情報を得ていく</li> <li>・地域の集まりやサークル活動の中で定期</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月 2 回のサークルへの参加でサポートセンターの見学会を行った。「美沢ヘルパー」「サポートセンター」への認知度が上がった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の場に顔なじみが出来ている実感がある。「色んなことを教えてくれる人」から「いつでも相談にのれる人」へなれるようにしていきたい。</li> </ul>

		随時の説明を行い多くの人にサービスを知ってもらう機会を作る	・サークルの方々に慣れて貰い少しずつサービスの説明を入れていく予定。	
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 33~34)		・広報誌以外では事業所への理解を得られる活動で情報発信を行い多くの方にサービスを知ってもらう努力を行う。	サークルへの参加を通してサポートセンターへの理解が得られた。	・地域の方へのサービスへの理解を深めていきたい。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します

### ■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務計画や研修内容をミーティングの都度確認し意識できると良い。年度途中で個別研修の進捗状況の確認も必要。</li> <li>・推進会議では多職種から様々な意見を貰えるため次年度の目標に反映して貰いたい。また良い学びの機会となっている為双方で協力できることがあれば取り組んでいきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進会議や外部評価の内容を職員全員に周知しながら業務目標を定め計画の作成を行う。職員が目標を理解し目標達成に向けた活動を行うようにしていく。</li> <li>・個別計画の振り返りは半年に1回行っているが毎月どの程度の進捗状況なのかの確認をミーティングで行えるようにしていく。</li> <li>・推進会議で問題提起した個別避難計画についての周知を地域活動へ反映していきたい。</li> </ul>

II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院の MSW や居宅介護支援事業所への周知は大切。また地域における事業所の活動がわかることで地域とのつながりも強固なものになる。</li> <li>・情報の共有に関して全ての関係機関で相互理解ができるように対応を考える事が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院や居宅介護支援事業所への周知活動を行っていく。定期随時サービスの利用方法を分かりやすく説明できるようにする。</li> <li>・ケアマネとの情報共有についてその方法や改善して欲しい点などを居宅介護支援事業所へ確認していく。</li> </ul>
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有を密に行い、保険内外の支援を上手く連携出来るようにして欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種との関わりの中で保険内外のサービスの取り入れ方を学ぶ。</li> <li>・地域活動を行いながら地域の一員として利用者へ反映出来る事は無いか考えていく。</li> </ul>
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 28～32)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の場に出向き実際の声を拾い上げている取り組みは素晴らしい。今後も地域と連携を図り、推進会議等で情報を共有できると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動は継続して行っていく。参加している方々の声を推進会議で発信していく。</li> <li>・推進会議議事録や外部評価を常設以外での発信する方法を考える。</li> </ul>
III. 結果評価 (評価項目 33～34)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が在宅生活を安心して送れるように、日々の関わりの中でアセスメント力を上げて、その方にとっての対応を考えてほしい。</li> <li>・地域と連携を図りサービスへの理解を深めて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント力向上のため F-SOAIP 方式の利用を継続して行えるよう職員へ研修を行い、F-SOAIP を使った情報伝達を働きかけていく。</li> <li>・地域で暮らし続ける為に定期随時サービスをどのように利用していくのか具体的な方法を事例を通して伝えていく。</li> </ul>	

※自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します